

JIS

炭化けい素質研削材の 化学分析方法

JIS R 6124 : 1998

(2004 確認)

平成**18**年 **8**月**20**日付け追補 あり

平成10年11月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS R 6124 : 1987は改正され、この規格に置き換えられる。今回の改正では、対応国際規格との整合を図った。

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 27.3.8 改正：平成 10.11.20

官報公示：平成 10.11.20

原案作成協力者：研削材工業協会

審議部会：日本工業標準調査会 窯業部会（部会長 福浦 雄飛）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

炭化けい素質研削材の
化学分析方法

R 6124 : 1998

Method for chemical analysis of silicon carbide abrasives

序文 この規格は、1997年に第1版として発行されたISO 9286, Abrasive grains and crude—Chemical analysis of silicon carbideが規定している炭化けい素質研削材の化学分析方法について、その技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない分析方法についても日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線及び点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格には規定されていない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、炭化けい素質研削材の化学分析方法及び蛍光X線分析方法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 9286 : 1997 Abrasive grains and crude—Chemical analysis of silicon carbide

2. 引用規格 付表2に示す規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

3. 化学分析方法 化学分析方法による分析項目は、次のとおりとする。

- a) 表面鉄
- b) 表面酸化アルミニウム
- c) 表面酸化カルシウム
- d) 表面酸化マグネシウム
- e) 全炭素
- f) 遊離炭素 (表面炭素)
- g) 炭化けい素
- h) 表面けい酸
- i) 表面けい素
- j) 全けい素

4. 蛍光X線分析方法 蛍光X線分析方法による分析項目は、次のとおりとする。

- a) 鉄
- b) アルミニウム
- c) カルシウム
- d) マグネシウム

5. 一般事項 分析について共通する一般事項は、化学分析については、JIS K 0050、吸光光度分析については、JIS K 0115、原子吸光分析については、JIS K 0121及び蛍光X線分析については、JIS K 0119による。